

## 今週（6月3日から6月7日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、月末要因が剥落したもののマーケットへの影響は小さく、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズの強い展開が継続された。出会いレートは、0.076~0.078%程度が中心となった結果、加重平均レートは、3日(月)~6日(木)まで0.077%での推移が続いた。週末となった7日(金)も大きな変化はなく、引き続き横這い圏での取引が見られた。

ターム物に関しては、1W~3Mの幅広い期間で引き合いがあり、0.15~0.25%程度で出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初3日(月)に2年債発行や税揚げの前倒し等の要因により546兆円まで大幅に減少して始まった。その後も4日(火)の年金保険料や法人税・消費税揚げ、5日(水)の10年債発行などにより538兆円程度まで減少したが、6日(木)以降は概ね横這い圏での推移となった。

### ●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね0.00~0.08%程度の水準で推移した。

SC個別銘柄では、カレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、6Mゾーンが堅調に推移した。

6日(木)に行われた6M物の入札は強い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調に推移した。7日(金)に実施された3M物の入札も強い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調に推移した。いずれも(3M物・6M物)今週の入札分から発行額が各3,000億円減額された中、退避資金流入の影響もあり順調な消化となった。

### ●CP市場

今週のCP市場は、電気・ガス、鉄鋼などで大型発行が見られるなか、電気機器では2日続けて大型発行が実施された。

市場発行残高については、賞与などによる季節的な資金ニーズが限定的な状況の中、23兆円台後半から24兆円台前半での推移となり、前週から大きな変動は見られなかった。

発行レートについては、1M~2M程度の期間では0.1%台前半での推移が続いている一方で、3Mを超えるものについては、銘柄によって投資家の運用目線にばらつきが見られた。

### ●短期金融市場関連指標

|         | 日経平均 (円)  | 新発10年物<br>国債利回り (%) | 為替<br>(ドル/円中心相場) | 無担保コールO/N<br>(加重平均・%) | 東京レポレート(翌日物・<br>T+1スタート・%) | 日銀当座預金残高<br>(億円) |
|---------|-----------|---------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|------------------|
| 6/3 (月) | 38,923.03 | 1.060               | 157.15           | 0.077                 | 0.069                      | 5,456,900        |
| 6/4 (火) | 38,837.46 | 1.030               | 156.40           | 0.077                 | 0.066                      | 5,409,300        |
| 6/5 (水) | 38,490.17 | 1.000               | 155.25           | 0.077                 | 0.069                      | 5,384,000        |
| 6/6 (木) | 38,703.51 | 0.955               | 155.90           | 0.077                 | 0.056                      | 5,387,100        |
| 6/7 (金) | 38,683.93 | 0.970               | 155.70           | 0.078                 | 0.062                      | 5,384,100        |

## 来週（6月10日から6月14日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

|          | 国内主要経済指標   | 国債等入札予定                    |                                    |  | 海外主要経済指標  |
|----------|--|----------------------------|------------------------------------|--|---|
| 6/10 (月) | 1-3月期のGDP 2次速報(内閣府 8:50)<br>4月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50)<br>4月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)<br>5月の景気ウォッチャー調査(内閣府) |                            |                                    |  |   |
| 6/11 (火) | 5月のマネーストック(日銀 8:50)  | 流動性供給<br>6,000億円<br>6/12発行 | エネルギー<br>対策借入<br>8,199億円<br>6/20借入 |  | 米FOMC(1日目)  |
| 6/12 (水) | 5月の企業物価指数(日銀 8:50)   |                            |                                    |  | 米FOMC(2日目)<br>FRB 米経済見通し発表<br>5月の米消費者物価指数<br>5月の米財政収支 |
| 6/13 (木) | 日銀金融政策決定会合(1日目14:00~)<br>4-6月期の法人企業景気予測調査季報(財務省 8:50)  | TB3M<br>55,000億円<br>6/17発行 | 流動性供給<br>5,000億円<br>6/14発行         |  | 5月の米生産者物価指数   |
| 6/14 (金) | 日銀金融政策決定会合(2日目9:00~)<br>日銀総裁定例会見(15:30)<br>4月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)   |                            |                                    |  | 6月のミシガン大消費者信頼感指数速報                                    |

### ●資金需給予想

| 単位：億円    | 銀行券要因   | 財政等要因   | 資金過不足   | オペ種類                         | 期日分     | 新規実行分  | オペ合計    | 実質過不足    | 需給要因   |
|----------|---------|---------|---------|------------------------------|---------|--------|---------|----------|--|
| 6/10 (月) | 400     | ▲ 4,100 | ▲ 3,700 | 国債買入<br>国債補完<br>CP買入<br>社債買入 |         | 11,000 | 45,200  | 41,500   | TB3M発行▲55,000償還58,000<br>TB6M発行▲37,000償還40,000 |
| 6/11 (火) | ▲ 500   | ▲ 1,000 | ▲ 1,500 |                              |         |        | 0       | ▲ 1,500  |  |
| 6/12 (水) | 0       | ▲ 3,000 | ▲ 3,000 | 全店共通                         | ▲ 7,200 |        | ▲ 7,200 | ▲ 10,200 | 源泉所得税揚げ、社会保障費払い<br>流動性供給▲6,000                 |
| 6/13 (木) | ▲ 1,000 | 3,000   | 2,000   |                              |         |        | 0       | 2,000    |  |
| 6/14 (金) | ▲ 1,000 | 77,000  | 76,000  | CP買入                         |         | 3,000  | 3,000   | 79,000   | 年金定時払い<br>流動性供給▲5,000<br>交付税借入▲13,000期日13,000  |
| 週間合計     | ▲ 2,100 | 71,900  | 69,800  | —                            | 27,000  | 14,000 | 41,000  | 110,800  |  |

6/10は日銀予想、6/11以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き邦銀業態を中心とした堅調な資金調達ニーズを背景に、0.076~0.078%近辺の出合いが中心となることが予想される。債券レポGC T/N物のレート水準は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、引き続き横ばい圏で推移する事が予想される。短国市場は、13日(木)に3M物の入札実施が予定されている。また、短国買入オペは、引き続き需給状況によるが、オフアールされるとすれば11日(火)に1,000億円程度での実施が予想される。CP市場は、11日(火)にCP等買入オペが3,000億円で予定されており、マイナス金利解除以降、上昇が続いている足切レート的水準が注目される。

主要なイベントは、国内では10日(月)に1-3月期のGDP 2次速報、4月の国際収支、12日(水)に5月の企業物価指数、13日(木)から14日(金)に日銀金融政策決定会合、海外では、11日(火)から12日(水)に米FOMC、12日(水)にFRB米経済見通し、5月の米消費者物価指数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入